

小学校1～2年生から 楽しめる読み物



……家族と一緒に……
＝おすすめの26冊＝



1ねん1くみ1ばんフル



後藤竜二 作 長谷川知子 絵 ポプラ社

くろさわくんは、1ねん1くみで1ばんフル。花ノ木だんちでもゆうめいで、ようちえんのころから、ぼうそうぞくでした。学校でも大きわざばかりしていて、ほくはいじめられないかいつもピクピクしています。だけど、きちんとはなしをきいてくれる先生といううちに、くろさわくんはちょっとずつかわってきたようです。いろんなせいかくのクラスメイトがでてくる、1ねん1くみシリーズの1さつです。

エーミルと小さなイーダ



アストリッド・リンドグリーン 作
さんべいけいこ 訳 岩波書店

おにいちゃんのエーミルは、いたずらが見つかったら作業小屋にとじこめられます。そのたびに、木をけずって人形をつくっていました。いもうとのイーダは、それがうらやましくてなりません。でも、どうすればいたずらができるかわかりませんでした。「あたし、いたずらを思いつくよう、がんばるの。」イーダもいたずらができるのでしょか。スウェーデンの農場でくらす、たのしいきょうだいのおはなしです。



エルマーのぼうけん



ルース・スタイルス・ガネット さく ルース・クリスマン・ガネット え
わたなべしげお やく 福音館書店

エルマーはある日、としをとったねこにであいました。「ひこうきで好きなところにとんでいきたい。」というエルマー。ねこは、「そんなにとんでみたいなら、どうぶつ島にとらえられているりゅうの子をたすけてあげよう。なかよくなれば、きつとどこへでもとんでいってくれる。」とおしえてくれました。さあ、りゅうをたすけるエルマーのたびがはじまります。エルマーのおはなしは、ほかに『エルマーとりゅう』『エルマーと16びきのりゅう』があります。

大きい1年生と小さな2年生



古田足日 さく 中山正美 え 偕成社

1年生でからだは大きいけれど、なき虫のまさや。2年生でいちばん小さいけれど、しっかりもののおきよ。つうがくろのくらいがけの道を、まさやはあきよが手をつないでくれなければおれません。いつもあきよにたよりきりのまさやでしたが、はじめて見たあきよのなみだをきっかけに、ホタルブクロをたつたひとりできがしにいけます。とてもとおい一本スギの森をめざして。



おそうじをおぼえたがらない リスのゲルランゲ



J・ロッシュ＝マゾン 作 山口智子 訳 堀内誠一 画 福音館書店

あか毛のしっぽをいためやしなかとしんばいで、そうじをしないリスのゲルランゲ。とうとう家をおいだされてしまいます。「ごほんなんがいらない。野宿をしたっていい。オオカミにたべられたっていい。でも、おそうじはおぼえたくないや。」なんともいっているうちに、ほんとうにオオカミにであってしまいます。オオカミが大きな口をあけたとき、ゲルランゲはなんといったとおもいますか？

火曜日のごちそうはヒキガエル

【ヒキガエルとんだ大冒険 1】



ラッセル・E・エリクソン 作 ローレンス・ディ・フィオリ 絵
佐藤涼子 訳 評論社

ミミズクにつかまったヒキガエルのウォートン。ごちそうとしてミミズクに食べられる日まで、あと5日。だけどおかしなことに、ウォートンとミミズクは少しずつなかよくなります。あれ、ひょっとして食べられずにすむのじゃないかしら？それとも、やっぱり食べられちゃうのかしら？このシリーズには、『消えたモートンとんだ大そうさく』『ウォートンのとんだクリスマス・イブ』などがあります。

